Distributed by WasedaSILS.com

世　界　史

（問　題）

2010年度

〈H22041121〉

注　意　事　項

1. 問題冊子および記述解答用紙は，試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は２～８ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明，ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合は，手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて解答用紙の所定欄にＨＢの黒鉛筆またはＨＢのシャープペンシルで記入すること。
4. 試験開始後，記述解答用紙の所定欄（２か所）に受験番号および氏名を，マーク解答用紙の所定欄（１か所）には氏名のみを記入すること。
   記述解答用紙の所定欄の受験番号は正確にていねいに記入すること。読みづらい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので，注意すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

5. マーク欄ははっきり記入すること。また，訂正する場合は，消しゴムでていねいに，消し残しがないようよく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

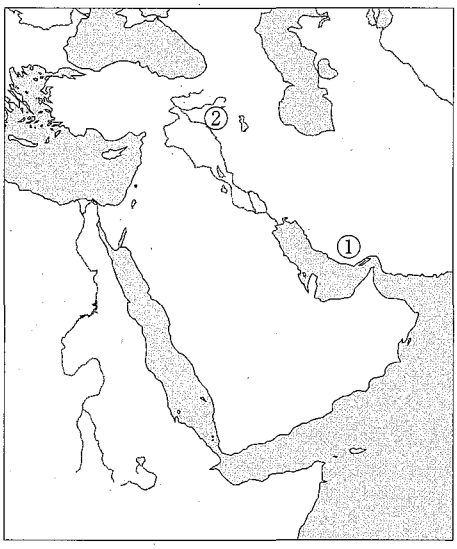
マークする時	●良い	○悪い	◐悪い
マークを消す時	○良い	○悪い	◐悪い

6. 試験終了の指示がでたら，すぐに解答を止め，筆記具を置くこと。
7. 試験終了後，問題冊子は持ち帰ること。
8. いかなる場合でも，解答用紙は必ず提出すること。

Ⅰ　金融市場や通信技術の急速な発達を背景とした、近年のいわゆる市場の「グローバル化」現象が始まる数千年前から、商人たちは海を越え、交易活動を行っていた。そして、交易の拡大は彼らに商業的利益をもたらしただけではなく、それぞれの時代の政治や文化の盛衰にも大きな影響を及ぼしてきた。このことについて述べた次の文章**A**～**C**を読み、各設問に答えなさい。解答は、マーク解答用紙及び記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

A　[a]語は、紀元前７世紀前半に[1]エジプトを征服してオリエント世界を統一した[b]における公用語である。この言語は、すでに紀元前13世紀ごろから[2]現在のシリアの首都を中心とした[a]人の交易活動の拡大によって、西アジアにおける国際商業語となった。

問１　文中の空欄[a]に入る言葉と[b]の最初の都があった位置を示す下記地図上の番号との組み合わせとして正しいものを、次の**ア**～**エ**のうちから一つ選びなさい。



ア　a＝ペルシア　b＝①　　**イ**　a＝アラム　b＝①　　**ウ**　a＝ペルシア　b＝②　　**エ**　a＝アラム　b＝②

問２　下線部１の歴史について述べた次の文ａ～ｃが、時代の古いものから順に正しく配列されているものを下の**ア**～**エ**のうちから一つ選びなさい。

ａ．アメンホテプ４世（イクナートン）がテル＝エル＝アマルナに遷都し、太陽神の一神崇拝を推進した。

ｂ．ヒクソスと呼ばれる人々がナイル川下流域に侵入した。

ｃ．ラメス（ラメセス）２世がヒッタイトと戦い、その後、和平条約を結んだ。

ア　ａ → ｂ → ｃ　　**イ**　ｂ → ａ → ｃ　　**ウ**　ｃ → ａ → ｂ　　**エ**　ａ → ｃ → ｂ

問３　下線部２の地を領有したことのない王朝はどれか、**ア**～**エ**のうちから一つ選びなさい。

ア　アッバース朝　　**イ**　ササン朝　　**ウ**　マムルーク朝　　**エ**　ウマイヤ朝

B　８世紀頃からムスリム商人はダウ船を用いたインド洋周辺諸国との遠隔貿易において中心的役割を担った。交易の拡大にともない、[1]インド、東南アジアに[2]イスラーム教を普及させることとなった。10世紀頃から中国商人がジャンク船を用いて海洋交易に参加するようになり、宋、[3]元、明の時代を通じて交易圏はさらに拡大していった。海上ルートに加えて、ラクダを用いた陸上ルートを開拓したムスリム商人は中国、インド各地の産物や文明をイスラーム諸国や西ヨーロッパ諸国に伝える役割を果たした。15世紀半ばからはポルトガルなどのヨーロッパ勢力がインド洋貿易圏に進出するようになり、大航海時代の幕開けとなった。

問4　ムスリム商人はアフリカ大陸の東海岸にも進出し、金・象牙・奴隷などの商取引に従事するようになったが、当時栄えていた商業都市キルワは現在どの国にあるか。また、19世紀末にその地を領有していた国はどこか。正しい組み合わせを一つ選びなさい。

ア　ケニアとイギリス　**イ**　タンザニアとドイツ　**ウ**　ソマリアとイタリア　**エ**　モザンビークとポルトガル

問5　下線部1の国において、16世紀に建国されたムガル帝国の第3代皇帝アクバル（在位1556～1605年）が行った政策のうち、誤りを含むものを次の**ア**～**エ**のうちから一つ選びなさい。

ア　領土の拡大を推し進め、アフガニスタンのカーブルやカンダハール及び現在のチベットを含む大帝国を築いた。

イ　ジズヤを廃止するなど、ヒンドゥー教徒との融和をはかった。

ウ　デリーの南東、ガンジス川の支流ヤムナー川（ジャムナー川）の西岸アグラに遷都した。

エ　各地で土地測量を行って作物の収穫高に応じた徴税を行うなど、行政の中央集権化を推し進めた。

問6　下線部2に関して、イスラーム教ないしイスラーム世界について述べた以下の文**a**～**c**について正誤の組み合わせとして正しいものを下の**ア**～**エ**のうちから一つ選びなさい。

a．法学・神学・文法学・哲学・詩学・韻律学・歴史学はいずれも『コーラン』（『クルアーン』）に基づくアラブ人固有の学問である。

b．イスラーム教徒に課せられた「六信五行」の「五行」とは、礼拝・断食・喜捨・巡礼・ジハード（聖戦）である。

c．トンブクトゥはイスラーム教を受容したマリ王国・ソンガイ王国の中心として繁栄したニジェール川流域の都市である。

ア　a正　b正　c誤　**イ**　a正　b誤　c正　**ウ**　a誤　b誤　c正　**エ**　a誤　b正　c誤

問7　下線部3に関して、元の時代にイスラーム世界で起こった出来事として正しいものを下の**ア**～**エ**のうちから一つ選びなさい。

ア　モロッコ出身のイブン＝バットゥータが『旅行記』（『三大陸周遊記』）を著した。

イ　西チャガタイ＝ハン国出身のティムールがデリーを占拠した。

ウ　北アフリカにムラービト朝をおこしたベルベル人がイベリア半島南部を支配した。

エ　第4回十字軍がコンスタンティノープルを占拠し、ラテン帝国を樹立した。

C　アダム＝スミスは、産業革命以降のイギリスとフランスの交易について『諸国民の富（国富論）』の中でもっぱら［ a ］主義を批判する立場から、次のように述べている。

「両国の間の自由で開かれた貿易がどちらの国にとってもきわめて有利になる点こそが、両国の［ b ］を妨げる最大の障害になっている。隣り合っている国なので、互いに相手が敵国になるのは避けられず、相手国が富と力をつければ、それだけ恐ろしい敵になる。」

一方で、産業革命は国内社会に資本家と労働者という新たな対立を生むこととなった。社会運動の高まりとともに、労働者は次第に政治的な発言権を拡大するようになり、1906年に実施された総選挙では労働者の代表として組織化された「労働党」[1]が初の議席を獲得するに至った。

問8　文中の空欄［ a ］及び［ b ］に入れる言葉の組み合わせとして正しいものを、次の**ア**～**エ**のうちから一つ選びなさい。

ア　a＝資本　b＝通商　**イ**　a＝資本　b＝国益　**ウ**　a＝重商　b＝通商　**エ**　a＝重商　b＝国益

問9　次のイギリス歴代首相のうち下線1の政党出身ではない人物は誰か、一つ選びなさい。

ア　ラムゼイ＝マクドナルド　**イ**　クレメント＝アトリー　**ウ**　ハロルド＝マクミラン

エ　ハロルド＝ウィルソン

問10　後に「空想的社会主義者」と呼ばれた、同時期のフランスを代表する社会主義思想家の中で、協同組合的理想社会（ファランジュ）の実現を唱えた人物は誰か。記述解答用紙にカタカナで書きなさい。

Ⅱ　以下の文章を読み、各設問に答えなさい。解答は、マーク解答用紙の所定欄に記入しなさい。

古代から石油の存在は知られていたが、アメリカで商業的な発掘が始まったのは、19世紀半ばであった。19世紀後半には、ロシアのバクー、オランダ領東インド、ビルマ（ミャンマー）[1]などでもヨーロッパ系資本による石油発掘が進んだ。しかし、中東で商業用油田の開発が進むのは、20世紀に入ってからのことである。1908年[2]、イギリス人実業家が中東初の油田をイランで発掘した。これを機にイランの石油は、イギリス系石油会社が独占することになる。メソポタミアの石油開発は、鉄道敷設とともにドイツが先行したが[3]、第一次世界大戦でドイツが敗北したために、戦勝国のイギリス[4]とフランスがドイツを排除して、石油利権を独占しようとした。しかし、アメリカが、機会均等、門戸開放をとなえて参入を求めた。1930年代になるとアメリカ系の石油会社が、バーレーンやサウジアラビア[5]で石油採掘に成功した。1940年代に入ると、さらにクウェート[6]、カタールなどでも石油発掘がすすみ、中東の石油は国際石油会社の支配下に置かれることになった。しかし、第二次世界大戦後、ナショナリズムの高揚を背景に、イランのモサデグ首相が、1951年に石油国有化を断行した[7]。ナショナリズムの波は、エジプトにも及び、1956年、ナセル[8]大統領が、スエズ運河の国有化を宣言した。しかし、これに反発する国々がエジプトに侵攻し、スエズ戦争[9]が勃発した。

問1　下線1に関する以下の記述のなかで誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　タイのアユタヤ朝は、ビルマのコンバウン朝に滅ぼされた。

イ　1948年、ビルマ連邦共和国として、イギリス連邦を脱して、独立した。

ウ　第二次世界大戦中、日本軍は、マレー、シンガポール、フィリピン、タイとともにビルマを占領した。

エ　1962年に成立したネ＝ウィン政権のもとで社会主義化がすすんだ。

問2　下線2に関する以下の記述のなかで誤りを含むものを一つ選びなさい。

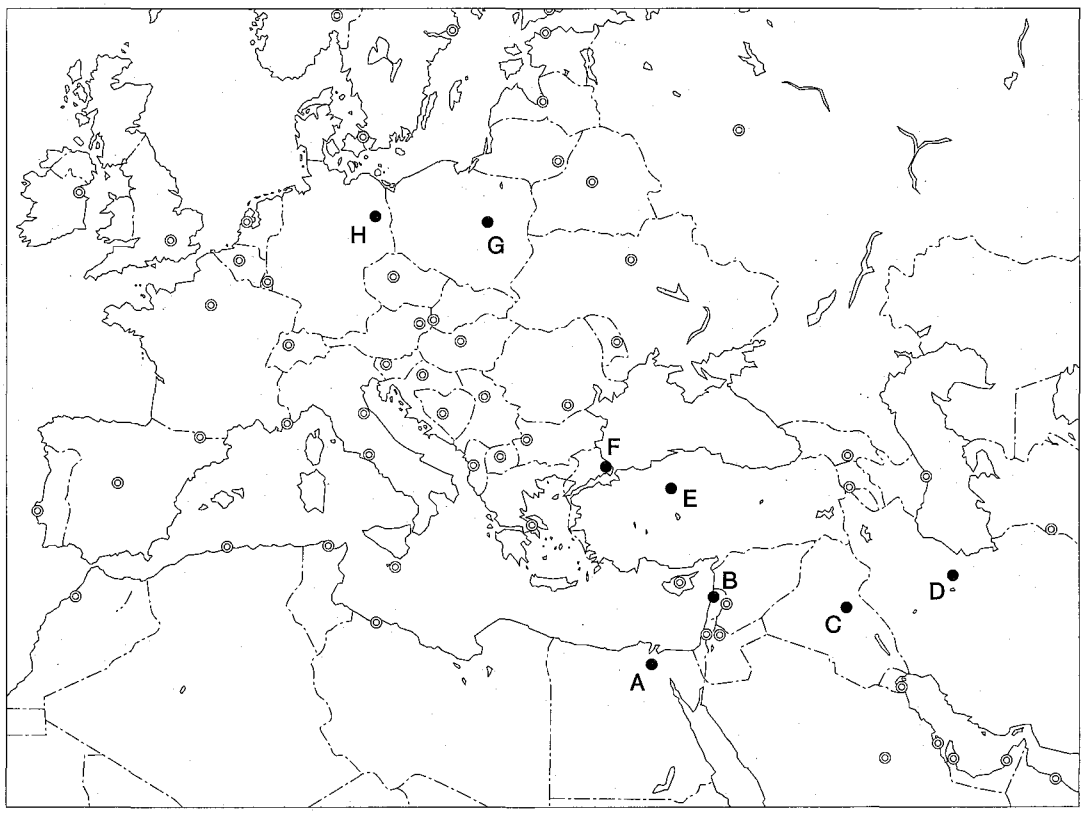
ア　前年、イギリスとロシアは、イランにおける両国の勢力範囲を決定する英露協商を締結した。

イ　この年、オスマン帝国では、無血革命により「青年トルコ」が政権を獲得した。

ウ　当時のイランを支配していたのは、トルコ系の王朝で、テヘランを都としていた。

エ　オスマン帝国皇帝アブデュル＝ハミト2世は、この年、ギリシア＝トルコ戦争の勃発を口実に、停止していたミドハト憲法の復活を約束した。

問3　下線3に関して、ドイツは鉄道敷設を通じて3都市を結ぼうとした。下記地図上の地点A～Hの中からその3都市を選びなさい。



問4　下線4に関する以下の記述のなかで誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　1915年、フセイン・マクマホン協定（書簡）を通じて、オスマン帝国との戦いにアラブ人を動員しようとした。

イ　1916年、フランス・イタリアとの間に中東分割に関するサイクス・ピコ協定を結んだ。

ウ　1917年、バルフォア外相による宣言は、ユダヤ系金融資本の協力を得ることが主な目的であった。

エ　第一次世界大戦後、敗戦国オスマン帝国の領土を処分するにあたって、パレスチナを自国の委任統治領とした。

問5　下線5に関する以下の記述のなかで誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　1932年、イブン＝サウードによって建国された王国である。

イ　現在、宗教上の首都はメッカであるが、政治上の首都はメディナである。

ウ　この国の大多数の人々は、18世紀中頃にイブン＝アブドゥル＝ワッハーブが説いたワッハーブ派のイスラーム教を信奉する。

エ　この国の前身であるワッハーブ王国は、エジプトのムハンマド＝アリーに一時滅ぼされた。

問6　下線6に関する以下の記述のなかで誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　クウェートは、イラクとサウジアラビアに挟まれたペルシア湾岸に面する国で、19世紀末、イギリスの保護国領となった。

イ　1990年8月、イラクのサダム＝フセイン大統領は、クウェートに侵攻し、併合を宣言した。

ウ　国連安全保障理事会は、イラクによるクウェート侵攻を非難したが、武力行使には慎重な態度を示した。

エ　クウェートは、1961年に独立したが、イラクは自国の一部であると主張した。

問7　下線7に関する以下の記述のなかで誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　モサデグ首相は、石油の国有化には成功したものの、1953年のクーデタで失脚した。

イ　石油の国有化によって巨額の富を得たイランは、ソ連に接近してアメリカをけん制した。

ウ　モサデグ首相は、イギリス、パキスタンとともにバグダード条約機構に加わった。

エ　当時のイランは、君主制国家で、パフレヴィー2世の支配下にあった。

問8　下線8に関する以下の記述のなかで誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　ナセルは、青年将校らと自由将校団を結成し、国王ファルークを倒してエジプト革命を成功させた。

イ　ナセルは、1958年、シリア・ヨルダンとアラブ連合共和国を結成したが、1961年、シリアは離脱した。

ウ　イギリスやアメリカは、ナセルの社会主義国寄りの外交政策に反発した。

エ　ナセルは、1967年の第三次中東戦争でイスラエルに大敗した後、1970年に急死した。

問9　下線9に関する以下の記述のなかで誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　この戦争は、イスラエルのエジプト侵攻によって勃発した。

イ　この戦争は、第二次中東戦争ともよばれ、イスラエルに続いて、イギリスとソ連も出兵した。

ウ　この戦争後、ナセルの指導の下、アラブ民族主義が高揚した。

エ　この戦争が勃発すると、国連は、緊急総会を開いて即時停戦を決議した。

Ⅲ　次の文章を読み、各設問に答えなさい。解答は、マーク解答用紙及び記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

フランスは、アメリカ独立戦争[1]を支援し、参戦に踏み切り、勝利を得たが、財政面では疲弊し、破たん状態に陥ってしまった。赤字が膨らんだ主な原因は、ルイ14世[2]時代以来の対外戦争の出費、宮廷の浪費であった。フランスでは18世紀後半に至っても、君主主権が唱えられ、ブルボン朝[3]による絶対君主制の支配が続いていた。アンシャン・レジーム下では、国民は三つの身分に分けられており、第一身分である約14万人の聖職者と第二身分である約40万人の貴族とが、封建的特権を有し、約2600万人いた第三身分である平民は参政権がなく、納税の義務を負っていた。第一身分と第二身分には年金支給と免税特権が認められていた。国王（　a　）は、財政再建が急務であると考え、即位直後に、重農主義[4]経済学者の（　b　）を財務長官に登用した。ヴォルテール[5]を始めとした進歩的知識人は、この人事を歓迎した。（　b　）は、身分制に基づく特権の廃止、特権階級への課税を強力に推進しようとした。こうした改革路線にパリ高

等法院が反発し、その打開のために、高等法院の求めに応じて、（　c　）世紀初頭以来召集されていなかった三部会[6]が1789年に開催された。経済的にも1786年の（　d　）によってイギリスの安価な製品が大量に流入し、危機が深まった。

しかし、三部会では議決方法を巡って、紛糾し、第三身分が独自に国民議会を結成した。国民議会は憲法が制定されるまでは解散しないことを誓った[7]。しかし、国王が、軍の力で国民議会に圧力をかけ、人気のあった財務長官（　e　）を罷免したため、パリ市民はバスティーユ牢獄を襲撃し、全国では農民が蜂起した。国民議会は、封建的特権の廃止を宣言[8]し、人権宣言を採択した。

ナポレオンは、（　f　）のクーデタで、（　g　）を倒し、統領政府を樹立し、国内秩序を回復したあと、マレンゴの戦いで（　h　）軍を破り、一時失ったイタリア北部の領土を奪回した。ピット内閣が倒れたイギリスとは1802年３月、（　i　）を結び、ナポレオン治世中めずらしい国際平和が１年余り続いた。また、ナポレオンは、（　j　）を結び、ローマ教皇等の和解も推し進めた。

問１　空欄（　a　）～（　j　）に適合する語句を、記述解答用紙に記しなさい。

問２　下線１に関連する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　1775年の武力衝突を契機として始まった戦争である。

イ　18世紀前半、イギリスは北米の植民地に対して、本国中心の通商政策を採った。

ウ　1765年の印紙法は植民地住民の激しい抵抗により、同年直ちに撤廃に追い込まれた。

エ　フランスの他、スペイン、オランダがアメリカの独立を支持して参戦した。

問３　下線２に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　コルベールを財務総監に登用して、重商主義を進めた。

イ　王権神授説を唱え、「朕は国家なり」と言ったとされる。

ウ　リシュリューを登用して、大貴族を抑えて、王権の強化に努めた。

エ　欧州における覇権を目指し、南ネーデルラント継承戦争やオランダ侵略戦争などに介入した。

問４　下線３に関して、ブルボン朝の王ではない人物を一人選びなさい。

ア　シャルル10世　　**イ**　シャルル９世　　**ウ**　アンリ４世　　**エ**　ルイ18世

問５　下線４に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　富の源泉は農業生産であるとして、それを増大するために経済活動の自由放任（レッセ＝フェール）を主張した。

イ　フランスのケネーなどによって主張された経済思想およびそれに基づく政策である。

ウ　ギルドの廃止や穀物流通の自由化が図られた。

エ　生産者階層である農民が、農地を所有し、自作農となることを前提としていた。

問６　下線５に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　『哲学書簡』において、イギリスの文化や社会を批判した。

イ　聖職者の偽善を糾弾し、カトリック教会を批判した。

ウ　フリードリッヒ２世と親交を持ち、啓蒙思想を伝えた。

エ　ディドロらが編集した『百科全書』に協力し、寄稿もした。

問７　下線６に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　フィリップ４世が、教皇ボニファティウス８世と争った際に、国民の支持を得るために、各身分の代表を招集したのが最初とされる。

イ　ミラボーとラ＝ファイエットは、貴族出身でありながら、第三身分代表として選出された。

ウ　1789年に開かれた三部会が最後のものとなった。

エ　シェイエス神父は第三身分代表として、三部会に参加し、ナポレオンのクーデタにも参画した。

問８　下線７に関して、この誓いは何と呼ばれているか。記述解答用紙に記しなさい。

問9　下線8に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　貴族ノワイユの提案が採択され、発布された宣言である。

イ　農奴制、領主裁判権及び身分差も撤廃され、私有財産の不可侵などが規定された。

ウ　租税上の特権、教会の十分の一税、官職売買などの特権も廃止された。

エ　封建貢租の廃止には、20～25年分の年貢の一括払いが必要とされた。

Ⅳ　以下の第二次世界大戦終結前後の世界と冷戦時代の国際関係に関連する下記の各設問に答えなさい。解答は、マーク解答用紙の所定欄に記入しなさい。

問1　以下の第二次世界大戦終結直前の出来事のうち、年代順に正しく並んでいるものを一つ選びなさい。

ア　米軍の沖縄上陸→米国で原子爆弾実験成功→ドイツの無条件降伏

イ　米国で原子爆弾実験成功→ドイツの無条件降伏→日本のポツダム宣言受諾

ウ　米軍の沖縄上陸→ドイツの無条件降伏→米国で原子爆弾実験成功

エ　ムッソリーニ処刑→米国で原子爆弾実験成功→ドイツの無条件降伏

問2　以下の国際機関などに関する記述のうち、誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　国際連合の第1回総会は、1946年1月に英国のロンドンで開催された。

イ　世界人権宣言は、1945年6月に採択された。

ウ　国際通貨基金と国際復興開発銀行は、1944年7月に米国のブレトン＝ウッズで設立が決まった。

エ　「関税と貿易に関する一般協定」は、1947年10月に調印された。

問3　以下の第二次世界大戦の戦後処理に関する記述のうち、誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　ドイツは、米・英・仏・ソによって分割占領された。

イ　敗戦国のドイツと日本に対して、それぞれニュルンベルク国際軍事裁判と極東国際軍事裁判が開かれた。

ウ　日本では、米軍中心の連合国軍総司令部によって農地改革・財閥解体・教育改革などの民主的改革が進められた。

エ　イタリアとオーストリアは連合国による分割管理をまぬがれた。

問4　以下の第二次世界大戦後のヨーロッパの政治状況に関する記述のうち、誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　イギリスでは、労働党政権が誕生し、重要産業の国有化や社会福祉制度の充実がはかられた。

イ　東ヨーロッパやバルカン地域の多くの国で、ソ連型の社会主義政権が誕生した。

ウ　チャーチルは、ベルリンで、ソ連がバルト海からアドリア海まで「鉄のカーテン」をおろしていると語った。

エ　イタリアでは、国民投票の結果、王制が廃止された。

問5　以下のヨーロッパの冷戦体制を促した出来事に関する記述のうち、誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　ソ連主導のコメコン創設時に参加した6カ国は、アルバニア・ブルガリア・チェコスロヴァキア・ハンガリー・ポーランド・ユーゴスラヴィアであった。

イ　米国のマーシャル国務長官は、ヨーロッパ諸国の共産主義化を防ぐために、ヨーロッパ経済復興援助計画を発表した。

ウ　ソ連は、ベルリンの西側管理地区の通貨改革に反対して、西ベルリンへの水・陸連絡路を封鎖した。

エ　トルーマン＝ドクトリンは、米国によるソ連の勢力拡大に対する「封じ込め政策」のはじまりとなった。

問6　以下の冷戦時代初期のアジアや中東における出来事に関する記述のうち、誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　毛沢東主席・周恩来首相の中華人民共和国とソ連は、1950年にモスクワで中ソ友好同盟相互援助条約に調印した。

イ　朝鮮半島では北緯38度線を境に、1948年、南部に李承晩大統領の大韓民国が、北部に金日成首相の朝鮮民主主義人民共和国が成立した。

ウ　国連総会は、1947年に、人口比で均等に、ユダヤとアラブ両国家に分割するパレスチナ分割案を決議したが、アラブ諸国はこの案を拒否した。

エ　英領植民地インドは、1947年に、ヒンドゥー教徒を中心とするインドとイスラーム教徒を中心とするパキスタンに、それぞれ分離独立した。

問7　以下の冷戦時代の東西両陣営の軍事同盟に関する記述のうち、誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　日本と連合国の間でサンフランシスコ講和条約が締結された同じ日に、日米安全保障条約が締結された。

イ　オーストラリア・ニュージーランド・インドネシアは、太平洋安全保障条約を締結した。

ウ　北大西洋条約機構とワルシャワ条約機構は、ヨーロッパにおける東西対立の象徴的な軍事同盟であるが、後者は1991年に解消された。

エ　反共産主義の軍事同盟として結成された東南アジア条約機構は、ベトナム戦争終結後、1977年に解消された。

問8　以下の冷戦中のソ連の平和共存政策と米ソ対立の局面に関する記述のうち、誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　ソ連のフルシチョフ第一書記は、1956年のソ連共産党第20回大会でスターリン批判を行い、資本主義国との平和共存と東西間の緊張緩和策を表明した。

イ　ハンガリーでは1956年に、反ソ暴動が起ってナジ政権が成立したが、ソ連の介入によってナジは処刑され、親ソ政権が樹立された。

ウ　東ドイツ政府は、1961年に、後に冷戦の象徴の一つとなる壁を、東西ベルリンの境界に築いた。

エ　米国のケネディー大統領は、1962年、強引な海上封鎖によって、キューバ危機に対処したために、米ソ関係はさらに悪化した。

問9　以下の1960年代後半から70年代前半の冷戦期に関する記述のうち、誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　西ヨーロッパでは、ヨーロッパ経済共同体（ＥＥＣ）が発展して、1967年に、ヨーロッパ共同体（ＥＣ）が成立し、1973年には、イギリスなどがＥＣに加盟した。

イ　チェコスロバキアでは、1968年に成立したドプチェク政権は、経済の自由化や市民的自由の拡大を含む改革をうちだした。

ウ　米国のニクソン大統領が、1971年にドルの金兌換停止と10パーセントの輸入課徴金の導入を発表したことによって、国際経済は動揺した。

エ　エジプト・シリアとイスラエルの間で、1973年に第４次中東戦争がおこると、石油輸出国機構（ＯＰＥＣ）は親イスラエル国への原油輸出停止や制限処置をとった。

問10　以下の冷戦体制の終焉に関する記述のうち、誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア　ソ連のゴルバチョフ書記長と米国のレーガン大統領は、1987年12月に米ソ両国間で中距離核戦力（ＩＮＦ）全廃条約に調印した。

イ　東ドイツ政府は、1989年11月、東西ドイツ間の交通制限を解除した。

ウ　チャウシェスク独裁体制が続いていたルーマニアでも1989年12月に反体制運動がおこり、チャウシェスク夫妻は処刑された。

エ　エリツィン大統領率いるロシア連邦を中心に、1991年12月、バルト三国をのぞき、ウクライナ、ベラルーシ、グルジアなどの11の共和国が独立国家共同体を結成した。

〔以　下　余　白〕

以下訂正済みですが、実際の試験では下記の訂正がありました。

早稲田大学　国際教養学部　一般入学試験問題の訂正内容

【世界史】

問題用紙 3 ページ 大設問Ⅰ 問 7 ア

（誤）（『三大陸周遊期』）

（正）

（『三大陸周遊記』）

問題用紙 大設問Ⅲ 問題文 13 行目(6 ページ 5 行目)

（誤）

開催しないことを誓った。

（正）

解散しないことを誓った。

※該当箇所に関する問いである、大設問Ⅲ問 8 については、

以下の措置をとることになりました。

解答の有無・内容にかかわらず、受験生全員に得点を与えることとします。